

カーボン・オフセット推進ネットワーク 公開セミナー・シンポジウム

## 環境価値と顧客との接点を考える

日時：2010年12月20日(月) 14:15～16:45

会場：ルポール麹町 2F ルビー

---

### プログラム

- 14:15-14:20 開会挨拶  
 カーボン・オフセット推進ネットワーク代表理事  
 全日本空輸株式会社 代表取締役副社長執行役員 長瀬 真
- 14:20-14:40 ショートレポート  
 「COP16における気候変動国際交渉の主な論点と注目される動向」  
 カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局 事務局次長 加藤 真
- 14:40-15:10 講演1 企業と消費者をつなぐ取組  
 「ボルヴィック 1L for 10L プログラムの紹介」  
 ダノンウォーターズオブジャパン株式会社  
 Volvic 1L for 10L プログラム プロジェクトリーダー 大塚 竜太
- 15:10-15:40 講演2 企業と消費者を結ぶプラットフォームの提供  
 「カーボン・オフセット（クレジット）とエコアクション・ポイント」  
 株式会社ジェーシービー  
 市場開発部 部長（ビジネスデザイン開発担当） 須谷 良夫
- 15:40-15:50 休憩
- 15:50-16:20 パネルディスカッション  
 「パネリスト」  
 ダノンウォーターズオブジャパン株式会社 大塚 竜太  
 株式会社ジェーシービー 須谷 良夫  
 株式会社リサイクルワン 辻本 大輔  
 「ファシリテーター」  
 カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局 加藤 真
- 16:20-16:40 質疑応答
- 16:40-16:45 閉会挨拶  
 カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局 事務局長 畑野 浩

## カーボン・オフセット推進ネットワーク役員・会員一覧

平成22年度末※敬称略・五十音順

## 1. 代表理事

- ・全日本空輸株式会社  
長瀬 眞 代表取締役副社長 執行役員

## 2. 副代表理事

- ・鹿島建設株式会社  
田代 民治 代表取締役副社長執行役員
- ・東京電力株式会社  
相澤 善吾 常務取締役
- ・株式会社ローソン  
浅野 学 取締役常務執行役員

## 3. 理事会社

- ・旭化成株式会社
- ・イオン株式会社
- ・オリックス株式会社
- ・鹿島建設株式会社
- ・鈴与ホールディングス株式会社
- ・全日本空輸株式会社
- ・ソニー株式会社
- ・株式会社損害保険ジャパン
- ・株式会社電通
- ・東京電力株式会社
- ・DOWA ホールディングス株式会社
- ・丸紅株式会社
- ・三菱UFJ信託銀行株式会社
- ・郵便事業株式会社
- ・株式会社ローソン

## 3. 監事会社

- ・株式会社トーマツ審査評価機構
- ・三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

## 4. 一般会員会社

- ・アオイネオン株式会社
- ・株式会社アドバンテック
- ・いであ株式会社
- ・伊藤忠商事株式会社
- ・株式会社EJビジネス・パートナーズ
- ・株式会社エコノス
- ・株式会社オガワエコノス
- ・加藤商事株式会社

- ・株式会社川島織物セルコン
- ・環境計測株式会社
- ・関西電力株式会社
- ・カーボンフリーコンサルティング株式会社
- ・株式会社コメンメントネットワーク・インプレッシブ
- ・株式会社JACO CDM
- ・ジーコンシャス株式会社
- ・住商インテリアインターナショナル株式会社
- ・住友スリーエム株式会社
- ・住友商事マシネックス株式会社
- ・住友林業株式会社
- ・積水化学工業株式会社
- ・株式会社シーエーシー
- ・株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
- ・大成建設株式会社
- ・瀧本株式会社
- ・大和ハウス工業株式会社
- ・テラモーターズ株式会社
- ・東京海上不動産投資顧問株式会社
- ・凸版印刷株式会社
- ・トッパン・フォームズ株式会社
- ・株式会社トノハタ
- ・日東紡績株式会社
- ・日本エヌ・ユー・エス株式会社
- ・社団法人日本能率協会
- ・財団法人日本品質保証機構
- ・株式会社博報堂
- ・株式会社八洋
- ・株式会社パスコ
- ・ビューローベリタス ジャパン株式会社
- ・日立キャピタル株式会社
- ・福島ミドリ安全株式会社
- ・富士通エフ・アイ・ピー株式会社
- ・富士フィルム株式会社
- ・株式会社マンダム
- ・株式会社みずほ銀行
- ・株式会社三井住友銀行
- ・三田農林株式会社
- ・三井物産株式会社
- ・三菱商事株式会社
- ・三菱UFJリース株式会社
- ・みなと環境にやさしい事業者会議
- ・宮川森林組合
- ・一般社団法人モア・トゥリーズ
- ・諸戸林業株式会社
- ・特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所
- ・株式会社ライジングコーポレーション
- ・株式会社リサイクルワン
- ・ローディアジャパン株式会社
- ・WPPC 木質ペレット推進協議会

## 5. 地方自治体会員

- ・青森県
- ・秋田県
- ・大阪府
- ・大台町（三重県）
- ・岐阜県
- ・高知県
- ・静岡市
- ・森林バイオマス吸収量活用推進協議会（足寄町・下川町・滝上町・美幌町）
- ・智頭町（鳥取県八頭郡）
- ・当別町（北海道石狩郡）
- ・鳥取県
- ・新潟県
- ・福井県
- ・北海道
- ・港区（東京都）
- ・宮崎県
- ・諸塚村（宮崎県）
- ・紋別市（北海道）
- ・山梨県
- ・横浜市（神奈川県）

## ◆平成22年度入会会員◆

入会時期	団体名	アテンド	業種	CO-Netで取組みたい事	これまで取組んだ活動
※3月中に申込、入会は4月	伊藤忠商事株式会社	郵便事業小野田様	総合商社	カーボンオフセットに係る情報収集	カーボン・オフセット年賀はがき他
	テラモーターズ株式会社 (旧：イーモバイル)	カーボンフリーコンサルティング様	製造業		
	加藤商事株式会社	カーボンフリーコンサルティング様	廃棄物処理業	GHG排出削減の研究及びコンサルティング	酒造製造業男山の国内クレジットを購入
	大和ハウス工業株式会社	鹿島建設三浦様	建設業	カーボン・オフセット商品・サービスの開発	
	富士通エフ・アイ・ピー株式会社	事務局	情報処理サービス	CO2削減やカーボンニュートラル企業を目指して、情報を収集し、できることから実践したい	現在はCO2削減化活動のみを実施
	ローディアジャパン株式会社	事務局小野	化学品商社	国連発行クレジットのカーボン・オフセットへの利用促進	
	秋田県	事務局小野	地方自治体	クレジット登録者と購入希望者とのマッチング支援	会議・イベントでグリーン電力証書を活用 県有林の森林吸収量をJ-VER登録する予定
	岐阜県	事務局小野	地方自治体	-	-
4月	株式会社マンダム	事務局小野	化学		
	株式会社八洋	オリックス様	清涼飲料の卸販売／総合自動販売機メーカー	オフセット自販機の推進	10/4/1より東京都のオフセット自販機の開始
5月	株式会社アドバンテック	郵便事業小野田様	半導体装置部品製造及び環境関連事業	カーボン・オフセットの取組の普及拡大	プロパティ-として企業のオフセットの取組支援
	特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所	郵便事業小野田様	非営利団体	J-VERプロジェクト創出と認証発行～販売	
7月	住友商事マシネックス株式会社	住商インテリ7様	卸業	民間企業同士の横のつながりを強化し、ビジネスチャンスを広げたい	当社取り扱い商材「エコフィルターシステム」をカーボン・オフセットする為、第三者認証機関により認証取得中
	株式会社パスコ	OECC西宮			
9月	北海道	事務局小野	地方自治体	北海道におけるカーボン・オフセットの普及促進	
	株式会社オガワエコノス	ロソソ篠崎様	廃棄物処理	カーボン・オフセットの市場拡大、情報収集	イベントオフセット、商品オフセット、クレジット化の提案など
10月	いであ株式会社	事務局金丸出向元	コンサルタント	カーボン・オフセット支援業務検討に伴う情報収集	なし
	株式会社シーエーシー	事務局小野	プロパティ-	カーボン・オフセットの普及・啓発活動	自社開催セミナーオフセット、顧客の使用する名刺のオフセット、自社箱崎オフィス使用電力量オフセット(認証取得済)
	瀧本株式会社		パルメーカ	カーボン・オフセット活動の啓蒙	なし
	大阪府	事務局	地方自治体	オフセット・クレジットの買い手とマッチング	会議やイベントでグリーン電力証書を活用 県有林の森林吸収量をJ-VER登録する予定
11月	株式会社コメントネットワーク・インプレッション	テラモーターズ様	TV番組企画、各種展示会運営、WEBサービス開発	J-VERの利用促進に関するサービス開発・イベントの実施	
12月	住友スリーエム株式会社		化学品製造	2010年にカーボンオフセット製品を上市	
1月	環境計測株式会社	みなと環境にやさしい事業者会議 ※11月25日委員会オフセット参加	環境計測機の保守管理業務及びアセスメント業務	-	-
	大台町(三重県)		地方自治体	-	-
2月	WPPC木質ペレット推進協議会	ANACSR推進室松井様	普及組織	J-VERプロジェクトの活性	新潟市木質ペレット使用によるJ-VERプロジェクト代表事業体、モアトゥリーズの森協定事業体
	当別町(北海道石狩郡)	ANACSR推進室松井様	地方自治体	-	廃食用油由来のバイオディーゼル燃料によるJ-VERの創出
	紋別市(北海道)	ANACSR推進室松井様	地方自治体	優良企業とのマッチング	COPI0へのJ-VERクレジットの提供
3月	宮川森林組合	大台町様	林業	カーボン・オフセットの利用拡大	J-VER制度における、温室効果ガス排出削減/吸収プロジェクトの実施(2011/1/19登録済)

※11年2月以降入会の場合、会費発生は次年度から

※H22年度入会数は28団体

※会員数95(2011年3月18日現在)

## ◆平成23年度退会◆

退会時期	団体名	退会理由
4月	株式会社アクロス	活動に参加できない時期が続いたため
	明電舎	社外活動に関わる費用削減のため
8月	テンブスタッフ・テクノロジー株式会社	環境ITのビジネスを立ち上げたが思い通りに進展せず、会員のメリットが活かせない為。

※H22年度退会数は3団体

カーボン・オフセット  
知ってみたい、やってみたい皆様へ

## 講演案内

# 企業・自治体が取り組む カーボン・オフセット事例紹介

### 講演

- 平成22年度 環境省  
カーボン・オフセットモデル事業採択事業者
- カーボン・オフセット推進ネットワーク会員事業者

### 開催日時

12月 9日(木) 12:00 ~ 16:55  
10日(金) 11:20 ~ 16:45

### 会場

当展示ブース  
環境省/カーボン・オフセットフォーラム(J-COF),  
カーボンオフセット推進ネットワーク(CO-Net)  
@2010エコプロダクツ展 小間番号:1-013, 1-014

聴講  
無料

### 12月9日(木)

12:00-12:15	カーボン・オフセット推進ネットワーク	
12:20-12:40	郵便事業株式会社	カーボン・オフセット推進ネットワーク会員事業者講演プログラム
12:45-13:05	鹿島建設株式会社	
13:10-13:30	株式会社エコノス	
14:00-14:20	株式会社イトーキ	
14:25-14:45	大成建設株式会社	環境省カーボン・オフセットモデル事業採択事業者講演プログラム
14:50-15:10	南アルプス市	
15:15-15:35	横浜市	
15:45-16:05	全日本空輸株式会社	カーボン・オフセット推進ネットワーク会員事業者講演プログラム
16:10-16:30	株式会社ローソン	
16:35-16:55	住商インテリアインターナショナル株式会社	

### 12月10日(金)

11:20-11:40	カーボン・オフセット推進ネットワーク	カーボン・オフセット推進ネットワーク会員事業者講演プログラム
11:45-12:05	高知県	
12:10-12:30	株式会社シーエーシー	
13:00-13:20	株式会社スーパーホテル	
13:25-13:45	住友商事マシネックス株式会社	環境省カーボン・オフセットモデル事業採択事業者講演プログラム
13:50-14:10	インフォコム株式会社	
14:15-14:35	住友スリーエム株式会社	
14:45-15:05	一般社団法人 モア・トゥリーズ	
15:10-15:30	三菱UFJリース株式会社	カーボン・オフセット推進ネットワーク会員事業者講演プログラム
15:35-15:55	株式会社川島織物セルコン	
16:00-16:20	カーボンフリーコンサルティング株式会社	
16:25-16:45	カーボン・オフセット推進ネットワーク	

カーボン・オフセットを事業活動に取り入れている事業者として、環境省のH22年度カーボン・オフセットモデル事業に採択された事業者、カーボン・オフセット推進ネットワーク会員事業者より、カーボン・オフセットの取り組み事業を紹介します。

J-COF及びCO-Netでは、エコプロダクツへの出展・講演にあたり、以下に伴うCO2排出量をカーボン・オフセットします。  
①スタッフ、講演者の交通移動、②当日配布した資料、③展示に際し使用した機器の消費電力  
CO2排出量の算定結果及びカーボン・オフセットの結果は、両団体のHPIにて後日お知らせ致します。

企画：カーボン・オフセットフォーラム(J-COF) / カーボン・オフセット推進ネットワーク(CO-Net)

## 2010カーボン・オフセット基本の「き」公開講座 改善策【概要】(案)

## 目的と課題

## 【目的】

- ・会員内外へのオフセット普及啓発の促進

## 【課題】

- ・受講者が収支計画通り集まる見込が立っておらず、目的の達成が困難

## 問題点と改善策の必要性

- ・中級者・上級者を呼び込めない  
→参加者のレベルや関心のあるテーマにあったプログラムによる講習会の実施(レベル分けあ・カテゴリ分けなど)
- ・受講者が知識の定着度や応用力を保證するものとなっていない。  
→学習効果を確認、およびリマインドすることのできるツールの開発・機会の提供(テキストの開発・試験の実施・修了証など)

## 改善策:カーボン・オフセット検定(仮)の実施

## 具体策

- ・テキスト・問題集の作成?
- ・講習会の実施?
- ・試験の実施?
- ・講習会受講者に修了証を発行?
- ・試験合格者へ合格証明書を発行?
- ・名刺交換会の開催?

## 検討内容

- ・講習会・テキスト・問題集の内容(タスクフォースにて検討)
- ・検定実施要領・実地体制の構築(総務委員会にて検討)

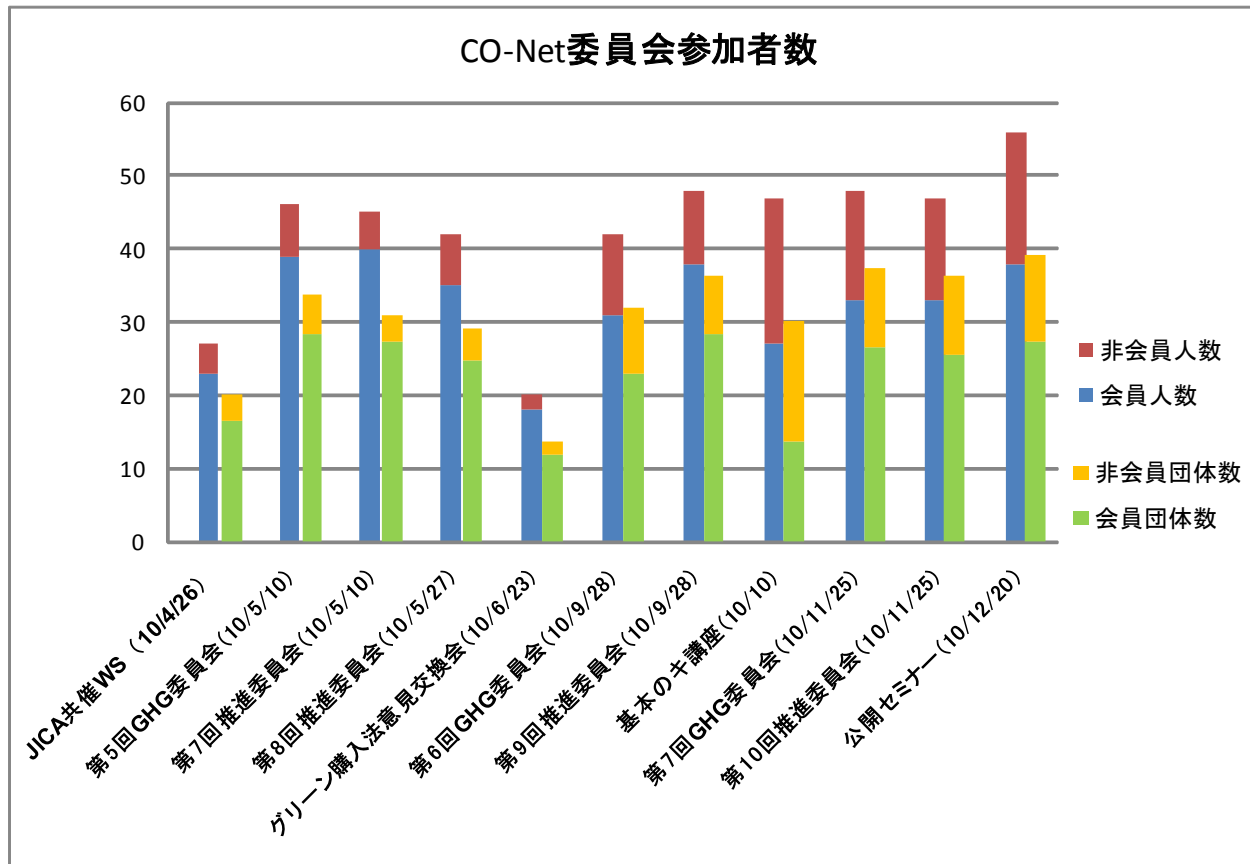
## 平成22年度 CO-Net 活動年表

月日	全体・総務委員会	カーボン・オフセット 推進委員会	GHG 排出削減・吸収 プロジェクト推進委員会
4月6日	・第2回理事会 ・第2回総会		
4月26日	・エコ川柳表彰式		
5月10日	・JICA-CO-Net 共催ワークショップ	・第7回委員会 「特定者間完結型カーボン・オフセットガイドラインに関する議論」	・第5回委員会 「J-VER 排出削減新規方法論と関連セクターの現状」
5月27日		・第8回委員会 「グリーン購入法に関する勉強会」	
6月23日	・第3回総務委員会 ・グリーン購入法の特定調達品目に関する提案募集についての意見交換会		
7月27日	・カーボン・オフセットセミナー in 静岡大学		
9月6日	・GTF東京みつけ♪2010 ・カーボン・オフセット EXPO		
9月15日 -17日	・エコマニュファクチャー展		
9月27日 9月28日	・JICA 有償資金協力 CDM セミナー	・第9回委員会 「特定者間完結型カーボン・オフセットの取組に関する勉強会」	・第6回委員会 「各省における環境施策及び地域活性施策の情報交換」
10月12日 -28日(全7回)	・基本の「き」公開講座		
10月29日 -31日	・学園祭オフセット in 東京海洋大		
11月25日	・第4回総務委員会	・第10回委員会 「会議・イベントにおけるカーボン・オフセットガイドラインの進捗状況報告」	・第7回委員会 「J-VER 排出削減新規方法論と関連セクターの現状」
12月9日 -11日	・2010エコプロダクツ展		
12月20日	・第4回理事会 ・公開セミナー		
1月15日	・第5回総務委員会		
2月2日	・3委員長会議		
2月4日	・第1回講座推進チーム会合		
3月8日	・第2回講座推進チーム会合		
3月14日	・カーボン・オフセット EXPO ※中止		
3月15日			・第8回委員会 「地方自治体におけるローカーボンアクション」※延期

## CO-Net委員会参加者数

資料1-7

	開催日	人数		団体数		TOTAL	
		会員人数	非会員人数	会員団体数	非会員団体数	人数	団体数
JICA共催WS (10/4/26)	4月26日	23	4	18	4	27	22
第5回GHG委員会 (10/5/10)	5月10日	39	7	31	6	46	37
第7回推進委員会 (10/5/10)	5月10日	40	5	30	4	45	34
第8回推進委員会 (10/5/27)	5月27日	35	7	27	5	42	32
グリーン購入法意見交換会 (10/6/23)	6月23日	18	2	13	2	20	15
第6回GHG委員会 (10/9/28)	9月28日	31	11	25	10	42	35
第9回推進委員会 (10/9/28)	9月28日	38	10	31	9	48	40
基本のキ講座 (10/10)	10月後半	27	20	15	18	47	33
第7回GHG委員会 (10/11/25)	11月25日	33	15	29	12	48	41
第10回推進委員会 (10/11/25)	11月25日	33	14	28	12	47	40
公開セミナー (10/12/20)	12月20日	38	18	30	13	56	43



## カーボン・オフセットと開発途上国における持続可能な開発を促進する CDM の活用

### JICA 気候変動対策室

### カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

#### 1. 本企画の目的

---

- (1) カーボン・オフセットに関心を有する(独)国際協力機構(JICA)およびその職員に対して、CO-Net 会員企業・地方自治体の取組を紹介する。
- (2) カーボン・オフセットへの活用を視野に入れた CDM プロジェクトについて、CO-Net 会員に対して、JICA からの情報提供を行う。
- (3) CO-Net と JICA の取り組み(CDM 事業化支援・キャパシティディベロプメント等)との接点や連携可能性について意見交換を行う。

#### 2. 本企画の JICA 側参加者(想定)

---

- (1) カーボン・オフセットという仕組みに関心を有する人
  - (2) カーボン・オフセットと JICA 業務の連携可能性に関心を有する人
- (注) 参加者をこれらの方々に限定するものではありません。

#### 3. アジェンダ

---

開会のご挨拶; JICA 江島室長 CO-Net 篠崎カーボン・オフセット推進委員長

##### 3-1 カーボン・オフセットに関する取組の紹介

###### (1)-1. CO-NET の取り組みの紹介

###### (i) カーボン・オフセットの仕組み(10分)

カーボン・オフセット推進ネットワーク(CO-Net)事務局 次長 加藤 真

###### (ii) 事例紹介(その 1):カーボン・オフセット・プロバイダの取り組み(10分)

株式会社リサイクルワン 温暖化対策事業部 取締役 辻本 大輔

###### (iii) 事例紹介(その 2):カーボン・オフセットのエンドユーザの取り組み(10分)

凸版印刷株式会社 エネルギーシステム部 部長 千田 明穂

###### (2) 質疑応答(15分)

##### 3-2 JICA が支援する CDM 事業・後発開発途上国(LDC)における CDM 支援にイニシアチブの紹介(JICA 気候変動室)

##### 3-3 JICA による森林事業への取組(JICA 地域部)

##### 3-4 JICA の民間連携(JICA 民間連携室)

##### 3-5 質疑応答

#### 4. ディスカッション

---

CO-Net と JICA の取り組み(CDM 事業化支援・キャパシティディベロプメント等)との接点や連

携可能性について意見交換を行う。

#### 5. 個別相談会

---

JICA職員および CO-Net 会員の希望者は、個別にご相談いただく。

#### 6. 開催日時・場所

---

(1)日時 4月26日(月)受付開始 13:30 開会 14:00 閉会 16:45

(2)場所 〒102-8012 東京都千代田区二番町 5-25 二番町センタービル

## 平成 22 年度 CO-Net 主催による会議・イベント排出量 算定方法および内訳

### 1 会議に関する算定

オフセット算定範囲は 1.会場使用による電力、2.参加者、関係者の交通移動とした。

---

#### 1.1 会議による CO2 排出量

---

会議による CO2 排出量は 1.978 t（内、使用電力は 0.123t、参加者、関係者の交通移動 1.855t）となった。

##### 1.1.1 内訳；使用電力量による CO2 排出量

会場使用による電力は 0.123t となった。用いた算定式は、以下のとおり。

CO2 排出量 (tCO<sub>2</sub>) = 電力使用量(kWh) × 排出係数(tCO<sub>2</sub>/kWh)<sup>1</sup>

排出係数：0.000384 tCO<sub>2</sub>/kWh<sup>2</sup>

##### ◆情報提供ごとの整理

- ・ 1 時間あたりの電力使用量が分かる場合
  - 電力消費量 × 使用時間
- ・ 月別電力使用量が分かる場合
  - 月別電力消費量 × 使用時間 (h/月) / 会場稼働時間 (h/月)
- ・ 建物全体の年間電力使用量が分かる場合
  - 建物全体の月別電力消費量 × (会場床面積 / 建物延べ床面積) × (使用時間 (h/月) / 会場稼働時間 (h/月))
- ・ 電力使用量が分からない場合
  - 空調条件等を配慮し、同じ時期に使用した会場の値を代替値として使用

##### 1.1.2 参加者、関係者の交通移動

参加者、関係者に移動に伴う CO2 排出量は 1.757t となった。

総移動距離

[49,724.85km(鉄道:41,223.2km、航空機:8,207.65km、自動車:294km)]

##### ◆交通手段ごとの整理

---

<sup>1</sup>温室効果ガス排出算定・報告マニュアル ver.3.1 より

<sup>2</sup> H 21 年度東京電力株式会社 実排出係数

## 1) 旅客鉄道 [JR 新幹線、JR 在来線、私鉄、地下鉄]

$$\text{CO2 排出量 (kgCO2)} = \text{移動距離(km)} \times \text{燃料消費率(kWh/人} \cdot \text{km)} \times \text{排出係数(kgCO2/kWh)}^3$$

移動距離は会場最寄駅から参加者所属先最寄駅を対象とし、乗換案内サービス「ジョルダン」<sup>4</sup>で移動距離情報を取得。燃料消費率は 0.048 (kWh/人・km)<sup>5</sup>を使用。排出係数は 0.000384 tCO2/kWh<sup>6</sup>を用いた。

## 2) 航空機利用 [国内旅客]

移動距離はカーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン ver.1.1 「表 2-1.主な国内線各空港間の距離」を使用

※移動距離は 1 マイル = 1.609344 キロで換算

排出量：カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン ver.1.1 「表 2-2.主な国内線各空港間における飛行機利用に伴う GHG 排出量」を使用

## 3) 自動車利用

## (1) [自家用車]

排出量：カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン ver.1.1 「表 9.自動車（自家用）を 1 日使用した場合の 1 人当たりの燃料別の GHG 排出量」を使用した。なお移動距離：移動地点の地図上の距離を、Google MAP にて情報を取得した。

## (2) [営業車]

算定式は、以下を用いた。乗車料金帯平均輸送距離は乗車料金より算出した<sup>7</sup>。

$$\text{CO2 排出量 (kgCO2/1 乗用車)} = \text{乗車料金帯平均輸送距離 (km} \cdot \text{台)} \\ \times \text{営業用乗用車の走行キロ燃費} \times \text{GHG 排出係数 (kgCO2/GJ)}^8$$

営業用乗用車の走行キロ燃費は 4.85(MJ/kml)<sup>9</sup>を用い、排出係数は 0.0183(tC/GJ)<sup>10</sup>を用いた。

## 1.1.3 参考資料

<sup>3</sup> カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン ver.1.1 より

<sup>4</sup> <http://www.jorudan.co.jp/>

<sup>5</sup> カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン ver.1.1

<sup>6</sup> H 21 年度東京電力株式会社 実排出係数

<sup>7</sup> 東京都 23 区内の設定料金より、初乗り 2000m を 710 円、以後 288m につき 90 円加算

<sup>8</sup> 交通・観光カーボンオフセットガイドライン(Ver1.2)

<sup>9</sup> 国土交通省による営業用乗用車の走行キロ燃費を単位換算して使用

<sup>10</sup> 温室効果ガス排出算定・報告マニュアル Ver.2.4 よりガソリンの排出係数を単位換算し、67.1kgCO2 を使用 ガソリンの排出係数単位換算 (C→CO2 : C×44/12)

- ・カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン (Ver.1.1) (2009年8月7日 カーボン・オフセットフォーラム (J-COF))
- ・交通・観光カーボン・オフセットガイドライン (Ver.1.2) (2010年6月 交通エコロジー・モビリティ財団)
- ・温室効果ガス排出算定・報告マニュアル Ver.3.1 (平成22年9月 環境省、経済産業省)

## 2 出展イベント；エコプロダクツ展 2010 出展に伴う排出量

オフセット算定範囲は1.機材使用による消費電力、2.スタッフ・講演者の交通移動、3.配布する資料とした。

---

### 2.1 出展イベントによる CO2 排出量

---

会議による CO2 排出量は 0.205 t (内、機材使用による消費電力 0.011t、2.スタッフ・講演者の交通移動 0.19t、3.配布する資料 0.04t) となった。

#### 2.1.1 機材使用による消費電力

使用式は以下のとおり。

CO2 排出量 (tCO2) = 電力使用量(kWh) × 排出係数(tCO2/kWh)<sup>11</sup>

電力使用量：定格消費電力 (W) × 使用時間 (h)

排出係数は 0.000332 tCO2/kWh<sup>12</sup>を用いた。

#### 2.1.2 スタッフ・講演者の交通移動

旅客鉄道 [JR 新幹線、JR 在来線、私鉄、地下鉄] での移動をもとに、以下算定式を用いて算定した。

CO2 排出量 (kgCO2) =

移動距離(km) × 燃料消費率(kWh/人・km) × 排出係数(kgCO2/kWh)<sup>13</sup>

移動距離は会場最寄駅から参加者所属先最寄駅を対象とし、Yahoo! Japan<sup>14</sup>による路線情報サービスにより距離情報を取得した。燃料消費率は 0.048 (kWh/人・km)<sup>15</sup>を用いた。排出係数は

---

<sup>11</sup> カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン (Ver.1.1)

<sup>12</sup> H 21 年度東京電力株式会社 調整後排出係数

<sup>13</sup> カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン ver.1.1

<sup>14</sup> <http://transit.map.yahoo.co.jp/>

<sup>15</sup> カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン ver.1.1

0.000332 tCO<sub>2</sub>/kWh<sup>16</sup>を用いた。

### 2.1.3 航空機利用〔国内旅客〕

排出量は全日本空輸株式会社提供による「ANA カーボン・オフセットプログラム」<sup>17</sup>より、CO<sub>2</sub> 排出量情報を取得した。

### 2.1.4 配布資料（CO-Net 事務局準備分）

用いた算定式は以下のとおり。

CO<sub>2</sub> 排出量 (kgCO<sub>2</sub>) = 用紙枚数(枚) × 排出係数(kgCO<sub>2</sub>/枚)

排出係数は 2.28g- CO<sub>2</sub>/枚<sup>18</sup>を用いた。

### 2.1.5 参考資料

- ・カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン (Ver.1.1)  
(2009年8月7日 カーボン・オフセットフォーラム (J-COF))

---

<sup>16</sup> H 21 年度東京電力株式会社 調整後排出係数

<sup>17</sup> <https://anaoffset.com/top/pc/airport/hpi/9fu9irsas6uqakqbdckhn7c17/screenId/OffsetStart>

<sup>18</sup> 「製品環境情報提供システム」(2005年環境省総合政策局製品環境情報提供システム事務局)

## 平成 22 年度カーボン・オフセット推進ネットワーク 収支計算書

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日まで

項目	期初予算	実績	備考
収入の部			
年会費収入			
年会費	5,500,000	4,700,000	1 口 50,000 円 (税込) × 94 口
講座・セミナー等収入			
有料講座など 参加費	1,500,000	190,000	カーボン・オフセット基本の「き」講座
有料セミナー 等参加費	180,000	42,000	シンポジウム
預金利息	200	544	
<b>①収入の部 計</b>	<b>7,180,200</b>	<b>4,932,544</b>	
支出の部			
会議費	600,000	675,018	総会会場費・懇親会費
イベント出展 費	1,000,000	629,149	エコプロダクツ 2010 出展
講師謝金	160,000	0	
印刷費	200,000	42,680	ポスター制作・コピー代
旅費交通費	200,000	97,100	講演者交通費・事務局出張費等
通信費	100,000	82,780	イベント出展パネル・資料郵送費等
借料損料	40,000	0	公開シンポジウム会場費等
消耗品費	40,000	0	文具類等
雑役務費(ウェブ サイト構築・運営費)	1,000,000	779,100	作業一式
人件費	3,000,000	3,180,157	派遣 1 名 ※期初計画の根拠 ; 年間約 4,350,000 円のうち、CO-Net で約 75%、OECC で約 25%負担。
雑費	30,000	40,530	クレジット購入費用、銀行振込手数料等
業務委託費	300,000	300,000	OECC 業務委託
租税公課	30	108	利息源泉税
立替払い返済 (OECC)	362,415	0	
<b>②支出の部 計</b>	<b>7,032,445</b>	<b>5,826,622</b>	
<b>収支差額 (① - ②)</b>	<b>147,755</b>	<b>▲894,078</b>	平成 21 年度繰越収支差額が▲362,415 であるので、平成 22 年度の次期繰越収支差額は▲1,256,493 となる。



平成23年4月22日

カーボン・オフセット推進ネットワーク  
事務局長 小野川 和延 殿

カーボン・オフセット推進ネットワーク

監事 岩尾 康史



監事 竹田 雅浩



私たちは、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの平成22年会計年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

#### 1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、加藤 事務局長より業務活動の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

#### 2. 監査意見

- (1) 収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、任意団体の収支状況を正しく示していると認める。
- (2) 活動報告の内容は真実であると認める。

以上

## カーボン・オフセット公開講座・講座推進チーム活動について

### 1 講座推進チーム概要

#### 1.1 発足の経緯

事務局主催で H21 年度および H22 年度に計 14 回開催してきた“カーボン・オフセット基本の『き』公開講座”のについて、第 4 回理事会（H22 年 12 月 20 日開催）にて改善の提案および改善についての討議がなされた。理事会での討議内容を受けて第 5 回総務委員会（H23 年 1 月 14 日開催）にて講座改善についての具体的な議論がなされ、篠崎チームリーダーを中心とした講座推進チームが発足する事となった。

#### 1.2 目的

カーボン・オフセットの認知を広めることを目的とし、“カーボン・オフセット基本の『き』公開講座”の改善に向けた議論および講座開催の準備を行う。

#### 1.3 H22 年度メンバー

(敬称略)

チームリーダー 株式会社ローソン	顧問 (CSR 担当)	篠崎 良夫
鹿島建設株式会社	環境本部地球環境室	秋葉 恵子
鈴与ホールディングス株式会社	企画チーム 企画推進役	土屋 修一
全日本空輸株式会社	CSR 推進部	佐藤 祐子
ソニー株式会社	コーポレート総務部 エネルギーソリューション課 シニアマネージャー	竹村 康広
株式会社損害保険ジャパン	CSR 部・環境推進室 副長	本田 恵
三菱UFJリース株式会社	市場開発部オフセットサービス室長	牧野 佐和子
郵便事業株式会社	経営企画部門 経営企画部 環境・社会貢献室 年賀寄付金アドバイザー	小野田 勝洋
株式会社リサイクルワン	取締役	辻本 大輔

## 2 活動内容

チームメンバーによる会合を毎月 1 回開催し、カーボン・オフセット公開講座の開催に向けて、講座の目的、対象レベル、試験の実施、講座の運営方法などについて議論を進めている。

現在までに 3 回の会合を開催（2 月 4 日、3 月 8 日、4 月 15 日）。現在までの主な討議内容は以下の通り。

- 対象について  
カーボン・オフセットに係る担当者（企業および自治体）。
- レベル分けと狙いについて  
カーボン・オフセットコーディネーター、カーボン・オフセットアドバイザーの 2 つに分ける。
  - ▶ コーディネーター講座：受講後にカーボン・オフセットについて社内で説明ができる力を持つ。
  - ▶ アドバイザー講座：各種ガイドラインの内容を理解し、カーボン・オフセットを実践できる力をもつレベル（プロバイダーレベル）。
- テキストについて  
講座で使用するテキストを作成する（現在）
- 修了証の発行  
受講者には修了証を発行する。

## 3 今後の活動予定

毎月 1 回、講座推進チーム会合を開催し、公開講座の内容に関する討議および講座開催に向けた準備としてテキストの作成および講座の開催を行う。

講座の初回開催は 9 月を目標としている。

現在は講座で使用するテキストを作成中。

## カーボン・オフセット理解促進チーム活動について

### 1 理解促進チームについて

#### 1.1 経緯

第4回理事会（H22年12月20日開催）にてカーボン・オフセット普及についての討議がなされた。そこでカーボンオフセットの普及促進に欠けていることとして、カーボン・オフセット取組当事者以外の事業者および、ユーザー（BtoBの場合は事業者、BtoCの場合は消費者）のカーボン・オフセットに対する関心と理解を深めてもらうことが必要であるとの意見があった。これを受けて、平成23年度のCO-Net活動の中に、カーボン・オフセット理解促進チームの会合を新たに提案するものとする。

#### 1.2 活動内容

社会全体（小学生・中学生、一般向け）における、カーボン・オフセットへの関心と理解を深めることを目的とし省庁や関連団体と連携を図る。

環境省の地球温暖化対策における広報の役割を担うチャレンジ 25 へ参画しカーボン・オフセットの認知度向上や理解促進を同施策でも展開できるよう働きかけを行う。

また、カーボン・オフセットの理解促進を図るため、PR ツールの作製についても検討を行う。

- 一般消費者向けツールの試作(キャッチコピー、環境貢献を前面に出す表現等を検討)
- こども向けパンフレット、ツールの試作（イラストによる図示表現等を検討）

ツールの試作については、カーボン・オフセットフォーラムと連携し、作製のための会合を適宜開催することをカーボン・オフセットフォーラム事務局に提案する。

## 平成 23 年度 カーボン・オフセット推進ネットワーク委員会開催日程

カーボン・オフセット推進委員会（以下、オフセット委員会）および GHG 排出削減吸収プロジェクト推進委員会（以下、GHG 委員会）の開催日程は、以下のとおり予定をしております。基本的には奇数月の第 2 火曜日となります。

必要に応じて新たに開催されるイベントについては、適宜お知らせをさせていただきます。

2011 年 5 月 10 日(火)	第 3 回 カーボン・オフセット推進ネットワーク通常総会 平成 23 年度 第 1 回 オフセット推進委員会 平成 23 年度 第 1 回 GHG 委員会
2011 年 7 月 12 日(火)	平成 23 年度 第 2 回 オフセット推進委員会 平成 23 年度 第 2 回 GHG 委員会
2011 年 9 月 13 日(火)	平成 23 年度 第 3 回 オフセット推進委員会 平成 23 年度 第 3 回 GHG 委員会
2011 年 10 月中旬～ 下旬を予定	公開セミナー(開催予定)
2011 年 11 月 8 日(火)	平成 23 年度 第 4 回 オフセット推進委員会 平成 23 年度 第 4 回 GHG 委員会
2012 年 1 月 10 日(火)	平成 23 年度 第 5 回 オフセット推進委員会 平成 23 年度 第 5 回 GHG 委員会
2012 年 3 月 13 日(火)	平成 23 年度 第 6 回 オフセット推進委員会 平成 23 年度 第 6 回 GHG 委員会